



カリウム注射剤の運用・投与方法に 注意してください！

これまでに、国内でカリウム注射剤の誤投与事故がたびたび報告されており、様々な安全対策が講じられています。当院においても、複数のカリウム注射剤が採用されています。今一度、当院におけるカリウム注射剤の運用や正しい投与方法について周知させていただきますので、各部門において徹底をお願いします。

カリウム注射剤の投与方法

カリウム注射剤を急速静注すると、急激に血中のカリウム濃度が上昇し、不整脈や心停止を引き起こす恐れがあります。以下に示す投与方法を確認してください。

【投与方法】

★カリウムイオン濃度として**40mEq/L**以下に必ず希釈し、十分に混和した後に投与すること

★ゆっくり静脈内に投与し、投与速度はカリウムイオンとして**20mEq/hr**を超えないこと

★カリウムイオンとしての投与量は**1日100mEq**を超えないこと

【取り扱い時の注意】



当院のカリウム注射剤の運用（2004年9月薬事委員会、医療安全管理室決定事項）

KCL注20mEqキット「テルモ」 20mL
（ワンショット静注できないキット製剤）



病棟で使用可能

K.C.L.点滴液15% 20mL、
アスパラカリウム注10mEq 10mL

（高濃度カリウムアンプル製剤）



**ICU、ACCC、手術室、
救急外来、NICU、血
液浄化部、透析回路
内注入のコメント入
り処方 に限定**



医療安全/感染対策/医療チーム ポケットマニュアルにも記載があります。ご確認ください。

カリウム注射製剤の院内採用品

医薬品名	一般名	組成・剤形	注意事項
KCL注20mEq キット「テルモ」 (20mL)	塩化カリウム	20mEq/20mL/ キット	- 必ず専用針を用いて輸液剤等に混ぜて使用すること - 輸液セットの三方活栓や側管（ト字管等）から直接静注しないこと
K.C.L.点滴液15% (15w/v%、2モル液)		40mEq/20mL/ アンプル	高濃度のカリウム製剤である（希釈時注意）
アスパラカリウム注10mEq	L-アスパラギン酸カリウム	10mEq/10mL/ アンプル	着色されていないため、無色澄明の液である（誤認注意）

カリウム注射製剤の誤投与の事例

事例	薬剤	詳細
1	K.C.L.点滴液15% (15w/v%、2モル液)	医師は投与速度、投与方法の指示をせず、看護師が手術中の医師に手術部看護師を介して確認を行うも、 <u>認識違いで中心静脈ラインの側管から薬液を注入</u> 、SpO ₂ 低下のアラームが鳴ったため注入を中止した。
2	KCL注20mEqキット 「テルモ」(20mL)	上級医がKCL追加を口頭で指示、看護師は専用針をつけず、 <u>注射器に薬液を吸い取って研修医に渡した</u> 。研修医は静脈ラインの側管に注射器を接続し、注入を行った。
3	アスパラカリウム注 10mEq	主治医より本剤2AのメインIVH内注入の指示と注射箋をリーダー看護師が受け、他の看護師に薬剤の準備と <u>担当看護師への伝達を依頼</u> 、担当看護師は側管よりワンショットで注入を行った。

※公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.98 2015年1月等 参考

これまでカリウム注射製剤の誤投与に関しては厚生労働省、日本医療機能評価機構、看護協会等から多くの警鐘が出されてきたものの、死亡を含む有害事象症例がいまだに発生しています。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：山田・山内)